

丹沢のまもり

令和4年2月号
神奈川県秦野警察署
山岳遭難救助隊発行

Safe Mountain-climbing, Enjoy Mountain-climbing.

令和3年中の遭難状況

【令和3年中の遭難事故】

態様(件)	滑落3	転倒4	病気6	疲労9	道迷い6
程度(人)	死亡2	重症(傷)5	軽症(傷)12	無傷12	

令和3年中の秦野署管内の遭難は、28件31人(前年比+7件+8人)で、令和元年から増加傾向にあります。遭難しないための傾向と対策とは。

【軽傷(症)や無傷の遭難者が増加】

去年は、軽傷(症)や無傷の遭難者が24人で、前年比8人増加となりました。特に多いのは『疲労による行動不能(足のつり等)』と『道迷い』でした。

【対策】

疲労…「コロナ禍であまり運動が出来なくて、体力が落ちていました。」という遭難者が多く見られました。登山に向けたトレーニングをするのは当然として、今の体力に合ったコースを選ぶことも重要です。

道迷い…久々の登山で、道を忘れた、地図を忘れた、道標を見落としたりなど、ブランクから来る原因が多く見られました。

慣れていない道でも必ず地図は準備する、登山中は道標や分岐をよく確認するなど、マメに現在位置を確認することで、道迷いは防げます。

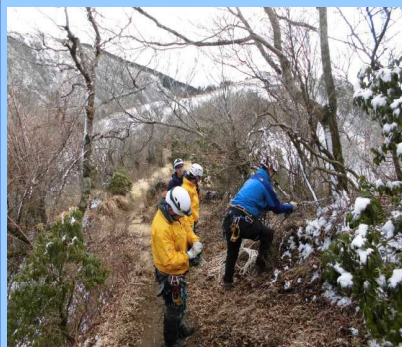
このような遭難は、事前の準備や少しの心がけで防げた可能性があります。今一度、登山の基本を確認してみてくださいはいかがでしょうか。

○1月中旬
当署管内での
山岳遭難事故

2件2名
(滑落1件、疲労1件)
※滑落は死亡

山岳事故発生状況

【昨年2月の雪の状況】 (冬季の救助訓練)



冬の丹沢は、雪が降っても積もる事は少ないですが、日当たりの悪い場所では雪が残る場合もあります。また、雪解けや霜解けのぬかるみで足元が悪いことも。冬山でのスリップは、時に重大な事故につながることもあります。いつも以上に足元に注意するとともに、軽アイゼン等を携行することを勧めます。

転ばぬ先の杖

秦野警察署山岳遭難救助隊

【秦野警察署】0463-83-0110



twitter



ホームページ